

51

千代田区景観まちづくり重要物件

雉子橋

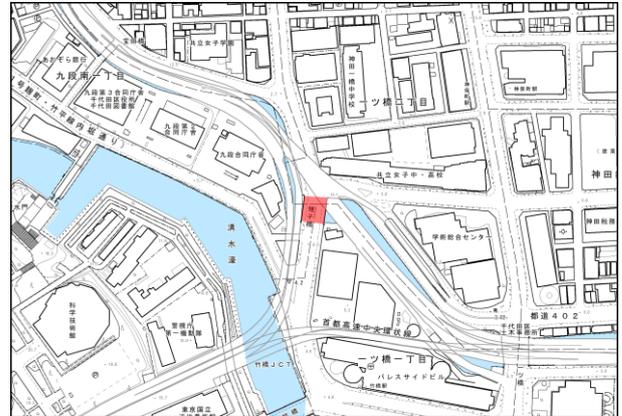
指定日 2007(平成 19)年 3 月 28 日

所在地 一ツ橋一丁目 2 番,九段南一丁目 1 番先
~一ツ橋二丁目 1 番先 (日本橋川)

設計者 -

竣工 1926 (大正 15) 年

文化財等
指定状況 -



▲雉子橋全景

歴史・文化的特徴

雉子橋は、震災復興橋梁として現在の位置に架けられましたが、それ以前はやや上流側に架けられていました。現在も旧橋台の跡を日本橋川右岸の護岸に見ることができます。

意匠・構造の特徴

鋼製のシンプルなアーチ橋です。

親柱は石造風の重厚感あるデザインですが、手すりは簡素なデザインとなっています。

橋桁の側面の色は緑色です。



▲雉子橋の親柱



▲緑色の高欄

周辺景観との関係

橋上からは特徴的な親柱が目に入ります。また護岸の古い石積みが目に入ります。

雉子橋周辺は首都高速道路の竹橋ジャンクションがあるため高架が交錯している地点であり、高架が空を覆い、眺望はあまり良くありません。

周辺道路などからは橋梁全体を見ることができますが、高架による圧迫感を感じます。水面からは印象的なアーチを見ることができますが、高架橋柱が視界を遮っています。